

中野正貴 MY LOST AMERICA

2019年12月5日(木)—12月26日(木)



WORLD TRADE CENTER from BROOKLYN NY, NOV, 1996

相模原市では 2001 年から写真の記録性をテーマに「相模原総合写真祭フォトシティさがみはら」を開催し、優れた写真作品への顕彰事業ならびに受賞作の収集を通して、豊かな写真のコレクションを形成してきました。来年度に 20 周年を迎えることを機に、これまでの足跡を紹介すべくコレクションされた作品を順次公開しています。

今回は 2008 年に「さがみはら写真賞」を受賞した中野正貴の〈MY LOST AMERICA〉を展示いたします。誰もいない東京、窓枠に切り取られた景色、河上を漂う都市一。巧みな視点で映し出された中野正貴の風景は、見慣れた都市を一変させ、独創的な姿を浮かび上がらせます。そんな中野の都市写真の原点となった作品が〈MY LOST AMERICA〉でした。80 年代のアメリカを写した本作は、若き日の中野が肌で感じた都市の空気とそこに生きる人々の瑞々しい姿が撮られています。そして今日においては、それらの写真は、2001 年の同時多発テロによって崩落したワールドトレードセンターなどの失われた風景の記録でもあります。

本作で撮られた在りし日のアメリカを通して、変わりゆく都市と人とが織りなす有機的な関係、そしてそれらを記録し伝えていく写真の在り方について考えるきっかけとなれば幸いです

開催概要

展覧会名 | 相模原市収蔵美術品展「中野正貴 MY LOST AMERICA」

会 期 | 2019年12月5日(木) - 12月26日(木)

会 場 | 相模原市立市民・大学交流センター ユニコムプラザさがみはら マルチスペース
〒252-0303 相模原市南区相模大野 3-3-2 ボーノ相模大野サウスモール 3階

開場時間 | 10:00-18:00

主 催 | 相模原市(相模原市民ギャラリー)

協 力 | 相模原市総合写真祭フォトシティさがみはら / フォトシティさがみはらサポーターズクラブ

作家略歴

中野正貴(なかの まさたか)

1955年福岡生まれ、翌年より東京在住。武蔵野美術大学卒業後、秋元茂氏に師事。その後、フリーランスとして雑誌や広告写真を手掛ける一方で、10年をかけて無人の東京を写した〈TOKYO NOBODY〉が高い評価を受け、2001年に日本写真協会新人賞を受賞。2005年には窓から東京の風景を切り取った〈東京窓景〉で第30回木村伊兵衛写真賞を受賞する。

独自の視点から表出される都市の空間は、ジャンルの垣根を越えて映画や文学等、多くのクリエイターに影響を与えている。

2008年、フォトシティさがみはら「さがみはら写真賞」を受賞。

主な写真集

『TOKYO NOBODY』(2000年、リトルモア)

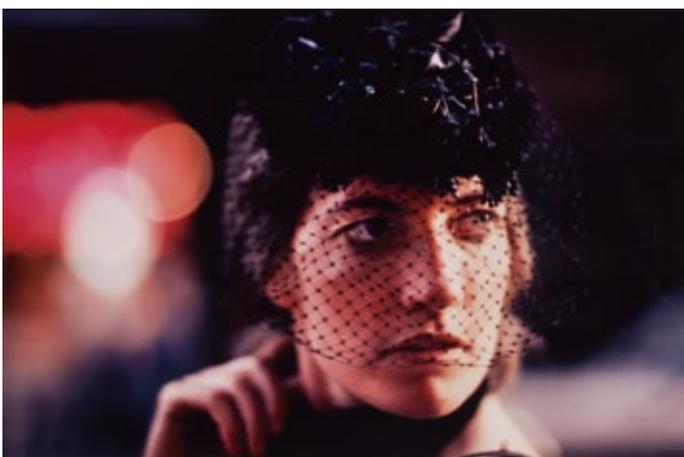
『東京窓景』(2004年、河出書房新社)

『MY LOST AMERICA』(2007年、リトルモア)

『TOKYO FLOAT』(2008年、河出書房新社)

『東京』(2019年、クレヴィス)

出品作品(一部)



BLEECKER st. NY, AUG, 1983



WORLD TRADE CENTER NY, JUL, 1983

本展の見どころ

80年代アメリカ人々と街の関係性

本作で被写体となった人々は、どこか皆いきいきとしています。大胆なファッションに身を包んだ女性や、屋外でトレーニングをする男性。街並みは雑然としていながらもそこに生きる人々が思い思いの暮らし営み、実に活気に満ちています。

80年代のアメリカは、70年代から続く不況の名残がまだみられる時代でした。また、ソ連との冷戦もピークと言える時期で、社会的にも不安や緊張感のある時代だったと言えるでしょう。それでもなお、懸命に日々を生きる本作の人々は、悩み多き時代を生きる私達に勇気を与えてくれます。彼らが暮らす街の姿もまた、単なる雑踏ではなく様々な人々を受け入れる懐の深い場所のようにも見えます。

人と街、互いが互いに影響しあい変化していく有機的な関係が本作からは見て取れるのではないのでしょうか。

風景を写す—巧みな空間把握

中野は、その後の作品に見られる巧みな空間把握が既にあらわれています。

墓地にそびえる墓と対比的に写されるニューヨークのビル群、三角形のオブジェに切り取られた景色、空に吸い込まれるワールドトレードセンター。都市を構成する様々なものが織りなす造形的なリズムが、都市の様々な姿をあらわにしていきます。日本を離れた写真家の目にとって、アメリカの風景はすべてが真新しかったことでしょう。その興奮がそのまま印画紙に焼き付けられている一方で、何気ない都市に隠れた視覚的な面白さを発見した喜びも本作からは伝わってきます。

問合せ先	相模原市民ギャラリー
電話	042-776-1262
担当	山田